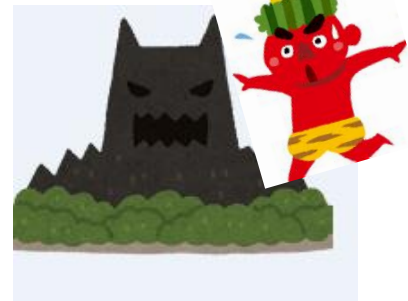
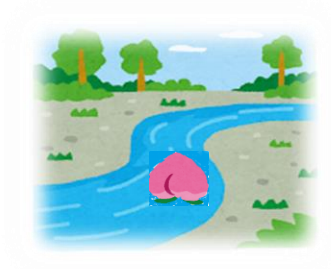


だれもがキラリ★

これって、あたりまえのこと？

vol.3では、みなさんがよくご存じの昔話を男女共同参画の視点から考えてみたいと思います。

私たちには、無意識のうちにすり込まれた男女のイメージがありますが、「男だから」「女だから」という性別や固定観念にとらわれたイメージは、時代の流れとともに移り変わり、「あれ？」と考えさせられる場面があるのではないのでしょうか？



昔むかし、あるところに・・・昔話「桃太郎」。

山へ柴刈りに行くおじいさん、川へ洗濯に行くおばあさん。あたりまえだと思っていないでしょうか？

今回は、今と昔、そして昭和から令和の常識や考え方の違いなどについて考えてみたいと思います。

「桃太郎」 あらすじ

昔むかしあるところに、おじいさんとおばあさんが住んでいました。

おじいさんは山へ柴刈りに行きました。おばあさんは川へ洗濯に出かけました。川で洗濯をしていたおばあさんは桃を拾い、中から出てきたのは元気な男の子。「桃太郎」と名付けます。

成長した桃太郎は、村に悪さをしにきた鬼を成敗しに行きました。宝をどつき持ち帰り、おじいさんとおばあさんは幸せに暮らしました。

ももたろう



おじいさんの
気づきと成長の物語

「桃子」 あらすじ

昔あるところに、子どものない老夫婦が住んでいました。ある日おばあさんが――

私も山へ柴刈りに行って
みとうございます。

しかし、おまえは女だ。
男と同じようには働けない。
女には女にふさわしい
仕事があるはずだ。

柴刈りが男でなければ
ならないという根拠がござ
いますか？
女だからという理由だけで
判断してしまうのは大
きな間違いではありませんか。
いつもいつも川で洗濯ば
かり……。私は洗濯をする
ために生まれてきたのでは
ありません。

と言いつつ出たため、なじみの昔話
は、ちよつと変わった展開になつて
いきます。

しぶしぶ柴刈りと洗濯の仕事を

交換し、冷たい水と想像以上の重
労働をばやきながら川で洗濯をし
ていたおじいさん。これは参ったと
つぶやきながら、立ち上がったと
き、川上から大きな桃が流れてき
ました。でも、中から出てきたのは
女の子。桃子と名づけられます。

思いがけず授かった

子どもの面倒は

誰がみるのでしょうか。

おばあさんは、

妊娠・出産を

経験したわけではありません。

おじいさんもおばあさんも赤ちゃ
んの育て方を知りませんでした。

二人はお互いにできることをし
ながら、大切に桃子を育てていき
ました。



柴刈りは交代で出
かけ、洗濯や炊事は、その日
その日で都合のつく方が行
います。

そして、成長した桃子は鬼ヶ島に
向かいます。鬼たちを攻めること
なく、仲間たちと協力し、支えら
れながら、鬼との話し合い・同意に
よつて共存を成功させました。



この話の中には、今まで「当たり前」と
思っていたことを「あれ？」と考えさせ
てくれる場面が多くあります。

昔話の桃太郎には、桃太郎が書かれた
時代背景があり、桃子には、現代の私た
ちの考え方が反映されていると思いま
す。

男女共同参画とは、決して女性を優先
することではなく、女性が「男並み」に働
く必要を説いているものでもありませ
ん。「女だから」「男だから」といった性別
にとらわれた行動や思考の限定を見直す
ことにあります。

家庭内外の仕事の分担、地域・社会に
おけるあらゆる分野で性別にかかわらず
誰もが快く生き方を選択できる社会を目
指していきたいと思っています。

男だからと決めつけると

男はつらいよ！

昭和の時代に形作られた各種制度や労働慣行、固定的な性別役割分担意識など、社会的、文化的に作られた価値観が男性の生きづらさの理由の一つになっていると言われています。



ひとりで悩まず、相談してください

男性相談員による

男性の電話相談窓口

岡山県 男性のための 相談 無料 秘密 厳守

電話相談

話してみませんか。
専門の男性相談員が、
お電話をお受けします。
匿名で相談できます。

生活 人間関係
家族 健康 DV
犯罪 夫婦関係

ひとりで悩みや不安を抱えず、お気軽にお電話ください。

電話番号【男性相談専用】
086-221-1270
毎月 第2・第4 土曜日
13:30~16:30

※相談員は都合により変更することがあります。
※相談は電話のみです。面談相談はございません。
※通話料はかかりません。

この相談に関するお問い合わせ先
岡山県男女共同参画推進センター【ウィズセンター】
〒760-0807 岡山県北區瀬戸市下瀬 13-1 くらめきプラザ6階 TEL:086-235-3307

あなたのお話をうかがいながら
解決に向けて一緒に考えていきます

玉野市男女共同参画相談支援センター

玉野市奥玉1-18-5(すこやかセンター内)

Tel: 0863-33-7867

相談時間 8:30 ~ 16:00

(土日・祝日・年末年始 12/29~1/3 を除く)



その他の相談機関

<玉野市 HP <https://www.city.tamano.lg.jp/soshiki/5/42057.html>>

<岡山県男女共同参画推進センターHP(ウィズセンター)>
<https://www.pref.okayama.jp/soshiki/187/>

若者の意識は 「今は昔の考え方とは違う」と 感じています！！



ここが大事！

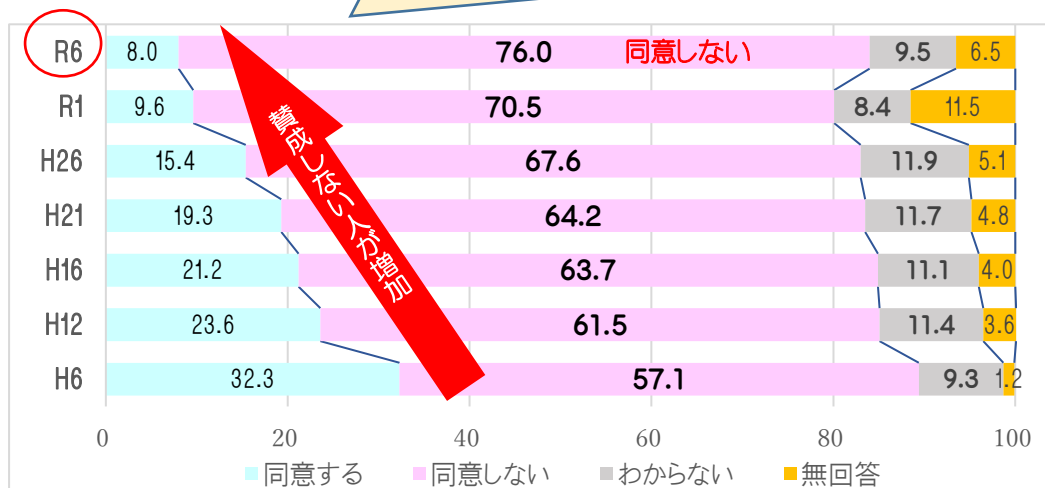
若者の県外流出の増加は、人口減少や地域の経済低迷に直結する課題になっています。
その要因のひとつに地域に根強く残る固定的な性別役割分担意識があると言われていいます。



岡山市内の18歳以上の男性
1,534人に聞きました

「男は仕事、女は家庭」という考え方の移り変わり

男は仕事、女は家庭という考え方に賛成しない人が増加



結婚、出産、子育てに関する県民調査報告書（令和6年3月 岡山県）資料

しかし

「一週間で家事に関することに費やす時間」は、**女性 7 時間 28 分、男性 1 時間 54 分**（総務省「社会生活基本調査 2021 年」）です。若い世代（20 代・30 代の男性ほど、家事を分担したいという気持ちがあるのに、なぜ、実際の家事時間はこのように差があるのでしょうか。次回は、それらをひもといて、解決のヒントを探していきたいと思います。

パートナーシップ宣誓制度について

玉野市は令和7年4月1日から、一方または双方が性的マイノリティの二人を公的に認める「玉野市パートナーシップ」を導入しました。宣誓書受領書カードなどの提示によって様々な行政サービスが受けられます。

- ・市営及び市所有住宅の入居
- ・たまの病院での対応（治療相談、手術の同意など）

詳しい内容や相談はコチラから↓

玉野市総務課 人権・男女共同参画係

(0863) 32-5516

玉野市パートナーシップ

